

サポーターとして是非パーティーにご参加ください。

# 若者の再出発を支えるネット

# サポーターズパーティー PART5!

2017年3月25日 SAT  
5:00pm~7:00pm  
覚證寺 (かくしょうじ) にて

チケット代 2000円 スナック&ワンドリンク付き(2杯目から別料金)

☆この売上げは“学びサポート”活動のために使われます  
学びサポート…高校卒業資格認定受験サポート、  
高校編入サポート、中学生勉強会 etc

内容	17:00~	開会
	17:30~	活動報告、会計報告 ボランティアをしている若者の紹介 再出発をした若者の紹介
	18:30~	交流タイム
	19:00~	閉会

チケットでなく、  
ワンコイン・カンパ  
のサポートも大歓迎  
です YO!

当日参加はできない  
けど、チケット購入  
でサポーターになっ  
ていただけるとも  
大変ありがたいです。

無理のない形で多く  
の方に参加していただ  
けることを願った  
パーティーです。

キタネの♡



チケット購入希望の方は  
こちらへメールください。  
当日券もアリ!

主催 若者の再出発を支えるネット

やり直したいと思っても、独りで悩んで諦めてしまう若者がいます。  
そんな若者を支えたいというおせっかいな大人のグループです。

ホームページ: <http://sasaerunet.web.fc2.com/>  
連絡先: 大町 090-8505-9906





## 若者サポーターズパーティー 2017 ご協力のお願い

**“誰もが進みたい道へ”の実現に向けて動き出した若者を支えるため、  
資金を集めるパーティーを“今年もまた”ひらきます**

### はじめに

どこに生まれようと、子どもたちには、自分の可能性を十分に伸ばす機会が、平等にあって当然です。でも、残念ながら日本の現状は、そうではありません。今、中学校卒業時点での進路が、その後の人生に与える影響が大きくなっています。それとは裏腹に、家庭の経済状況によって、子どもたちの進路が狭まってしまうことも起こっています。

しかも、中学時代は、心が揺れ動く思春期の真ただ中ですから、「将来のために」というおとなのアドバイスを素直に受けとめられず、後悔した時には、おそいという子どもたちもいます。

### 動き出した若者たち

どこに生まれたかで進路が決まるのではなく“誰もが自分の進みたい道にすすめるように”

子どもたちに、無料で勉強を教える『学びサポート』というボランティア活動を始めた高校生がいます。2011年、春のことです。彼らは、自らのグループを調布中N G Oと名づけました。

「“貧困の連鎖”をなくすために」高校生は、自分たちの活動をそう説明しています。「ささやかな一歩だけれど、できることを、今始めるのだ」と。

そんな高校生（今はもう大学生になりました）に少しでも、“おとなからの「ありがとう」を伝えるため”、2013年から毎年1回、資金集めのパーティーを開いてきました。

### パーティーの収益は

これまで4回のパーティーの収益は合わせて100万円を超え、再出発を誓う若者の支援にも使われました。中学卒業後、事情があって高校に進めなかった少女がいます。3年働いた後、彼女は『高校卒業資格認定試験』を受験するという決意をしました。そして一昨年夏、ついにすべての単位を取得し、大学受験資格を取得しました。その勉強のため、どうしても直前の1週間は仕事を休む必要がありました。減ってしまう収入を補う『奨学金』として無利子でその資金を提供することができました。今後も『奨学金』は必要な若者に提供をしていきます。

さらに一昨年からは、N G Oの高校生大学生の希望により、東京外国語大学で学ぶ外国人留学生を招き英会話の勉強会を開く費用にも充填することができました。

### 世代を超えた支え合い

“一度つまづいた若者が、いつでも、何度でもやり直せる社会にしたい、それを調布から始めたい”そんな思いを語り合う出会いの場になれば、と願って、このパーティーを、続けてきました。

そして一昨年、調布でも「子ども・若者総合支援事業」がスタートしました。そこにも、子どもたちを温かく見守る人と人の繋がりが活かされています。地域で『学びサポート』を継続してきたメンバーは大学生となり、その事業の中の学習支援のボランティアとして経験を生かしています。

私たち支えるネットも、この市の事業と連携し、事業の枠組みでは実行できない隙間を埋める活動を始めています。動き始めたからこそ、初めて見えてくることがあります。

「こんなことが、できたらいい」

「こんなことも必要なのでは」・・・と。5回目となるサポーターズパーティーでは、そんなアイデアを皆さんと語り合えたらと思います。

そして、このパーティーをきっかけに、さらに子どもたちを支える人の輪が広がることを願ってやみません。

今年も、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。